

令和7年度 年度評価結果表

施設の概要等	施設名称		鉄道スクエア			
	施設所管課		文化観光課			
	施設概要		本施設は、かつて長浜が交通の要衝都市として発展した歴史や文化を後世に伝えるとともに、旧長浜駅舎家屋（滋賀県指定文化財）や収蔵品などを活用し、都市観光資源として観光客の誘客を図ることを目的とする。 ①旧長浜駅舎：明治15年建築、延床面積：439.20㎡、構造：無筋コンクリート造2階建、棧瓦葺 ②長浜鉄道文化館：平成12年建築、建築面積：372.64㎡、構造：木造2階建合金メッキ鋼板葺 ③北陸線電化記念館：平成15年建築、建築面積382.57㎡構造：木造2階建合金メッキ鋼板葺			
	指定管理者名		公益社団法人長浜米原観光協会			
	指定期間		令和5年4月1日から令和10年3月31日まで			
事業成果（令和7年度）	管理実施状況	管理運営業務	① 長浜市歴史文化を紹介する観光施設条例第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務 一 実物、標本、模写、模型、図表、写真等の展示及び供用 二 歴史文化に関する展示及び保存資料についての説明、助言及び指導 三 資料の保管、展示に関する技術的研究 四 資料に関する説明書、目録、図録等の作成及び頒布 五 観光施設の目的に係る特別展等の開催 六 建物及びその附帯施設の公開 七 その他観光施設の設置目的を達成するために必要な事業 ② 管理施設（附帯設備を含む。）の維持管理に関する業務 ③ 管理施設の使用許可に関する業務 ④ 管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ⑤ その他市長が必要と認める業務			
		自主事業の実施状況	大阪・関西万博の開催に合わせた「万博展」や滋賀県・北陸本線の鉄道にフォーカスした企画展を実施した。			
	利用状況	利用状況	令和7年度実績	令和6年度実績	特記事項（増減理由等）	
			46,182人	50,304人	入館料の値上げのため、昨年度と比較して4,122人の減となった。	
		利用者アンケートの結果	評価区分			
			実施概要	Googleフォームを活用したデジタルアンケート 回答数：180件 （満足度の回答数：179件 ※残る1件は無回答）	最多項目	満足度 評価
			結果	30代～40代のファミリー層が半分以上を占め、親子共々楽しめたという感想が目立った。はじめて来館した方は80%を占めており、20%はリピーターである。	○	非常に満足度が高い
			利用者の声をふまえ、反映した事項	特になし		満足度が高い
	収支状況	施設における収支	令和7年度実績	令和6年度実績	特記事項（増減理由等）	
		収入(千円)	18,060	14,551	利用料収入は昨年度比145%増となった。昨年度に比べて来館者は8%減となったものの、入館料の値上げにより利用料収入は増収となった。	
		(指定管理料)	2,650	2,650		
		(利用料金収入)	15,159	10,483		
		支出(千円)	15,609	16,658		
	その他特記事項	コロナ禍(2020年)後、令和6年度まで入館者数はV字回復の傾向が続いていたが、令和7年度、初めて減少に転じた。一方、入館料収入は令和6年度を大きく上回る結果となった。				
年度評価	評価項目	主な評価の視点		配点	評価点	
	①設置目的の達成の取組	施設の設置目的の達成、利用者サービスの向上		40	27	
	②効率性の向上等の取組	経費の節減等、収入（利用者）の増加		25	18	
	③適正な管理運営の取組	経理状況、管理運営費の実施状況、公共性・安全性等の確保		35	27	
	合計			100	72	
	年度評価及びコメント	年度評価	令和7年度の入館料収入は令和6年度を大きく上回り、赤字から黒字へ回復することができた。アンケートによる利用者満足度も、「満足」と「やや満足」が全体の約95%となっており、非常に高い評価である。一方で、入館者数は当初計画数を上回るも、前年度と比較し減少した。今後、入館者数増加のため、誘客強化を図る必要がある。また、夏季の暑さ対策も課題のため、来年度以降、改善を期待する。			